



【プレスリリース】

2022 年 2 月 7 日

報道関係各位

コンパクトサイズで最大 300 インチの大画面 レーザー+2ch LED で明るく鮮やかな webOS 搭載スマート 4K プロジェクター 「HU710PW」を 2 月下旬より全国で順次発売

LGエレクトロニクス・ジャパン株式会社

LG エレクトロニクス・ジャパン株式会社(代表取締役:孫 成周(ソン・ソンジュウ) 本社:東京都中央区)は、プロジェクターシリーズ『LG CineBeam(シネビーム)』の新モデルとして、4K プロジェクター「HU710PW」を 2022 年 2 月下旬より、全国で順次発売します。

「HU710PW」は、ご自宅で過ごす機会が増えてきている昨今、おうち時間を充実させるアイテムとして、コンパクトサイズでありながら、最大 300 インチ(幅約 6.6m)の大画面再生が可能で、レーザー+2ch LED で明るく鮮やかな 4K 映像が楽しめるプロジェクターです。

光源には青色レーザーと赤と青の LED のハイブリッド型のランプを採用。青色レーザー+緑の蛍光体によって、鮮やかな緑を再現し、4K 画質にふさわしい、明るさと色彩表現を実現しています。従来の DLP のカラーホイール方式と比較し、弱点であった経年的な色の変色、レインボーノイズも軽減することで、ピュアな RGB カラーを再現します。

また、周囲の環境光に応じて虹彩を開閉させて映像の明るさを調整したり、シーンに合わせてレーザーの出力を調整することで明暗差を再現するなど、画質を最適化するための機能「ブライトネスオプティマイザー」を搭載。HDR 映像ソースのコマごとのメタデータに従い映像を最適化する「ダイナミックトーンマッピング」にも対応し、適した明るさ、色彩を表現するだけでなく、鮮やかな 20 万:1 の明暗比によって、まるでその場にいるような映像美を大画面で楽しめます。

さらに操作性においても、Wi-Fi 接続に対応し、webOS のインターネットブラウザや各種 VOD の再生など、外部デバイスがなくても、手軽にエンターテインメントを楽しむことができます。モバイルデバイスとのワイヤレス接続も可能で、Miracast などの画面共有機能や AirPlay2 で、スマホ画面をキャスト、ミラーリング、ストリーミングで表示/再生させることができる Screen Share 機能にも対応し、USB2.0 端子を 2 ポート実装しているため、USB メモリに保存された動画・音声・画像ファイルを接続するだけで再生することができます。



<発売概要>

モデル名(型番)	発売時期	価格(※予想実売価格・税込)
HU710PW	2022 年 2 月下旬	オープン価格(300,000 円前後)

LG エレクトロニクス・ジャパン株式会社

〒104-8301 東京都中央区京橋 2-1-3 京橋トラストタワー15 階

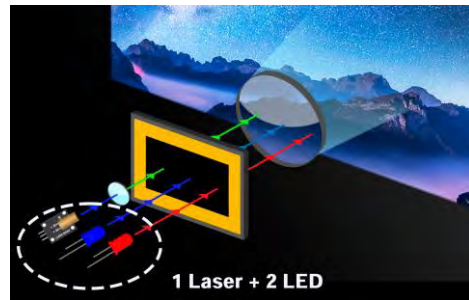
<https://www.lg.com/jp>

■主な特長

【最大 300 インチの高精細 4K】

レーザー+2ch LED で明るく鮮やかに

青色レーザーと赤と青の LED のハイブリッド型のランプを採用。青色レーザー+緑の蛍光体によって、鮮やかな緑を再現。4K 画質にふさわしい、明るさと色彩表現を実現しています。また、従来の DLP のカラーホイール方式と比較し、弱点であった経年的な色の変色、レインボーノイズを軽減。ピュアな RGB カラーを再現します。



ジャンルに応じた HDR をサポート

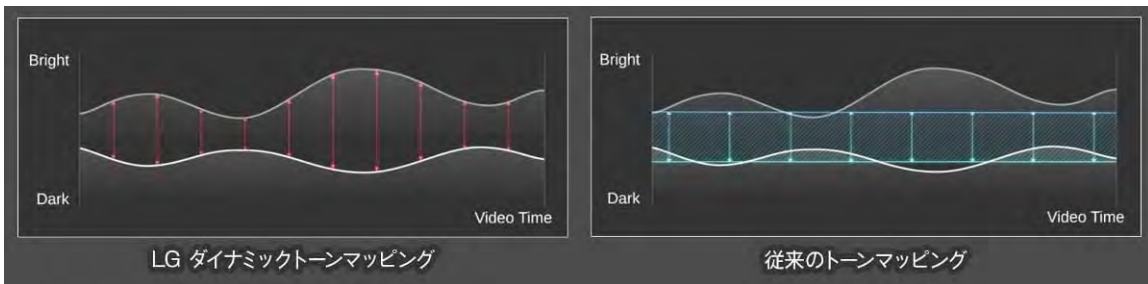
HDR の中でもっとも広く普及している「HDR10」をはじめ、主に衛星放送などテレビ放送向けの HDR 規格「HLG」や、HDR 対応ゲームコンテンツの安定した表示のガイドラインを定めた、「HGiG」にも対応。HDR に対応したさまざまなジャンルのフォーマットを再生できます。



画質の魅力を最大限にするさまざまな機能

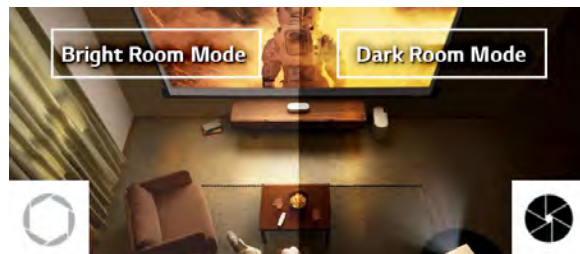
1. 「ダイナミックトーンマッピング」

HDR 映像ソースのコマごとのメタデータに従い映像を最適化するダイナミックトーンマッピングに対応。映像全体を通して均一な従来のトーンマッピング(Static Tone Mapping)とは異なり、フレームごとに変化させることができるため、常に適した明るさ、色彩を表現することができます。さらに鮮やかな 200 万:1 の明暗比によって、まるでその場にいるような映像美を大画面で楽しめます。



2. 「ブライトネスオブティマイザー」

カメラの「絞り」のように、周囲の環境光に応じて Iris(虹彩)を開閉して、映像の明るさを調整。明るい場所では環境光によって、黒が潰れて表示されてしまうため、虹彩を広げて明るさの範囲を広げます。暗い場所では、ビビットなコントラストによって目に負担をかけるおそれがあるため、虹彩を閉じて明るさの範囲を狭めます。



3.「アダプティブコントラスト」

レーザーの出力を映像のフレームごとに合わせて、明るさやコントラスト比を調整し、シーンに合わせた明暗差を再現。明るいシーンでは明るく、暗いシーンでは深い黒と陰影のディテールを維持することで映像に深みを与えます。



4.「Filmmaker Mode™」

上記の機能以外にも本モデルには、疑似フレームを挿入して動きを滑らかにする「TruMotion」や、低解像度の映像を高精細に表示する「Super Resolution」など、映像をさらに豊かにする機能を搭載しています。こうした、高品位な表示画質も含めたエフェクトが時として映像制作者の意図と異なってしまう場合があります。映画ならではの魅力をありのままに表現することを目的とする「Filmmaker Mode™」はフレーム数を映画と同じ 24Hz に固定して、さまざまなエフェクトを無効化。D65(CIE によって制定された標準光源)で相関色温度 6500K に設定され、マスタリングに限りなく近い映像を再現します。

【webOS が実現する「手軽に大画面」】

Wi-Fi に接続してインターネット動画を再生

Wi-Fi 接続(IEEE 802.11a/b/g/n/ac)に対応。webOS のインターネットブラウザや VOD アプリを使用して、そのまま映像を楽しむことができます。テレビチューナーや再生機器などの外部デバイスが必要ないので、本機以外のデバイスの設置やケーブル接続が必要なく、手軽にエンターテインメントを楽しむことができます。また、有線 LAN にも対応。大容量の動画コンテンツを安定して再生することもできます。



Bluetooth®で音声機器とワイヤレス接続

ヘッドホンやホームシアターなどの Bluetooth®対応機器とワイヤレス接続が可能です。接続するのは電源ケーブルだけ。映像デバイスやスピーカーと有線で接続することなく映像を楽しむことができます。さらに、内蔵スピーカー+外部スピーカーでサラウンド環境を構築することも可能。「ドルビーアトモス」との互換性もあり、臨場感を演出する立体音響を実現します。また、モバイルデバイスとも Bluetooth で接続すれば、内蔵スピーカーでスマホの音楽や音声を聴くことができます。

スマホとワイヤレス接続

モバイルデバイスと同一のネットワークに接続すれば、専用アプリ「LG ThinQ」を使用することでスマホで簡易リモコンとして操作が可能です。また、Miracast®などモバイルの画面共有機能や AirPlay2 で、モバイルの画面をキャスト、ミラーリング、ストリーミングで表示/再生させることができる Screen Share 機能に対応しています。

もちろん有線での接続も可能で、HDMI 接続はもちろん、Slimport や AV アダプタにも対応しています。 ※ Android デバイスのメーカーによって呼び方が異なります

USB デバイスのファイル再生に対応

USB2.0 端子を2ポート実装。USBメモリなどの USB ストレージデバイスに保存された動画・音声・画像ファイルを USB 端子に接続するだけで再生することができます。さらに、USB キーボード※1と接続すれば、ブラウザの検索や文字入力※2などができるようになります。

※1: すべての USB キーボードで利用できることを保証するものではありません

※2: 簡易操作となるため、一部動作が異なる場合があります

【優れた設置性、使いやすさを】

自由度の高い設置

1. レンズシフト/1.6 倍ズーム

水平方向 24%、垂直方向 60%までの位置調整に対応しており、設置後でも画面配置の調整が可能。また、最大 1.6 倍のズームに対応し、最大 300 インチ、3m 以内の距離で 100 インチまで投影できます。

2. 15 ポイントエッジ調整

縦は上端、中央、下端の 3 列、横 5 列の計 15 か所のポイントの歪み補正が可能。壁面の凹凸や角度等によって、投影が歪んでしまう場合でも安定した形状で映像が表示できます。



長寿命なレーザー+LED 光源でメンテナンスも容易に

通常 20,000 時間、エコノミックモードを使用すれば 30,000 時間使用できる長寿命な光源を採用し、交換にかかるコストや手間の心配がありません。また長寿命であることで、従来のランプよりも明るさの減衰が軽減され、長期間に渡って、明瞭なまま楽しむことができます。水銀を使用しないレーザー+LED 光源によって、長寿命かつ環境にも配慮したエコフレンドリーな製品です。

■主な仕様

型番	HU710PW	
解像度	3840×2160	
明るさ	2000ANSI ルーメン	
コントラスト比	2,000,000:1	
画面サイズ(必要距離)	40"～300" (113～870cm(1.6 倍ズーム使用時))	
光源	レーザー+2ch LED	
スピーカー	5W + 5W(ステレオ)	
バッテリー	—	
消費電力	210W	
Bluetooth® 音声出力	○	
Screen Share	○	
端子	HDMI	HDMI2.1×1、HDMI2.0×2
	USB	USB2.0×2
	ヘッドホン出力	1
	光デジタル出力	1
	LAN 端子(RJ45)	1
筐体仕様	外形寸法(突起含む)	W259×D390×H129.2 mm
	重量	約 6.5kg
本体カラー	ホワイト	



※本仕様は予告なく変更される場合があります

※画像はすべてイメージです

※本リリースに掲載されている社名、製品名、技術名は各社の商標または登録商標です

■LG エレクトロニクス・ジャパン株式会社概要

社 名: LG Electronics Japan 株式会社 (LG Electronics Japan Inc.)
本 社: 〒104-8301 東京都中央区京橋 2-1-3 京橋トラストタワー15 階
U R L: <https://www.lg.com/jp>
設 立: 1981 年 1 月
代 表 者: 代表取締役 孫 成周 (ソン・ソンジュウ)
事業内容: LG エレクトロニクス製品の日本向け輸入販売業。現在は 4 事業を展開
【ホーム・アプライアンス&エア・ソリューション】
洗濯機、冷蔵庫、衣類リフレッシュ機等
【ホーム・エンターテインメント】
テレビ、ブルーレイプレイヤー等
【ビジネス・ソリューションズ】
モニター、ノートパソコン、ホームプロジェクター、デジタルサイネージ、ソーラー事業等
【ビークルコンポーネント・ソリューションズ】
車載用機器等

■LG エレクトロニクスについて

LG エレクトロニクスは、家電をはじめとするテクノロジーのグローバルイノベーターとして、世界中に事業拠点をもち、約 75,000 人以上の従業員を擁しています。

2020 年の世界売上高は約 560 億ドルで、「ホーム・アプライアンス&エア・ソリューション」、「ホーム・エンターテインメント」、「ビークルコンポーネント・ソリューションズ」、「ビジネス・ソリューションズ」の 4 事業を展開。テレビ、生活家電、エアコン、モニター、サービスロボット、車載用機器などを製造する世界有数の総合家電ブランドです。

また、プレミアム家電シリーズ「LG SIGNATURE」や、独自開発の人工知能技術「LG ThinQ」などを展開しています。詳しくは、www.lg.com をご覧ください。

報道関係者様のお問い合わせ先

LG エレクトロニクス・ジャパン株式会社 広報担当:阿部
Email: pr.jp@lge.com